



1_ 女子の最長区間1区(6.0㌔)を走る猪苗代高2年の佐藤未来選手 2_ 男子2区・会津工業高3年の渡邊北斗選手 3_ 男子3区・若松商業高3年の古川陽斗選手

高校生が猪苗代路を駆ける 県高校駅伝競走大会

男子第64回、女子第37回県高等学校駅伝競走大会は10月24日、本町で開かれ、カメリーナをスタート・フィニッシュとする男子7区間42.195㌔、女子5区間21.0975㌔で争われ、男女ともに学法石川高校が優勝しました。男子は2時間5分6秒の大会記録で9年連続11度目、女子は1時間13分48秒で4年連続6度目の優勝を果たしました。学法石川高校は、男女とも全員が区間賞を獲得するなど、盤石の走りを見せました。

両チームは、12月に京都府京都市で開かれる全国大会の出場を決めました。また、男女の上位5チームは、11月に山形県長井市で開かれる東北大会の出場権を得ました。

大会には、今年も地元の猪苗代高校や町内中学校出身の選手が出場しました。猪苗代高校は、スキー部などの生徒による特設チームを編成して大会に出場。男子が31位、女子は20位という結果となりました。(※オープン参加のチームを除いた順位)

懸命の走りを見せる選手の姿に、応援に駆け付けた多くの町民や保護者らから盛んな声援が送られました。

水質環境保全を図る

猪苗代湖クリーンアクション2019 vol.3

環境省と県、町が主催する「猪苗代湖クリーンアクション2019 vol.3」は10月23日、猪苗代湖の白鳥浜で行われました。「猪苗代湖クリーンアクション」では、水質環境保全を図るため、枯れると水質悪化の一因となるヨシの刈り取り作業を行いました。

当日は、町内外から集まったボランティア約150人が参加し、白鳥浜湖岸のヨシ約60㌦を刈り取りました。



白鳥浜湖岸のヨシを刈り取る参加者

黄金色の田園風景楽しむ

第21回いなわしろ軽便ウォーク

第21回いなわしろ軽便ウォーク～懐かしの軽便鉄道を訪ねて～は9月28日、ＪＲ川桁駅から中ノ沢温泉までの17.5㌔のコースで行われました。開会式では、黒岩博文実行委員長、渡部常男町商工会長らがあいさつした後、鈴木清孝さんのハーモニカの演奏に合わせて沼尻軽便鉄道がモデルとなった「高原列車は行く」を合唱し、一斉にスタートしました。約150人の参加者は、黄金色に染まった田園風景を楽しみながらコースを歩きました。



ＪＲ川桁駅をスタートする参加者



収穫した稲を持つ小林さん(左)ら

Pick Up

今月の話題

小林文男さんのほ場で 大嘗祭の献上米を収穫

11月14、15の両日に行われる皇位継承の重要祭祀、「大嘗祭」に献上される県産米の稲刈りは10月15日、生産者の小林文男さん(称次ⅡＪＡ会津よつば猪苗代稲作部会長)のほ場で行われました。

大嘗祭には、全都道府県から1・5㌔の精米と特産品が納められ、本県の献上米は小林さんが全量を担いました。献上米に選ばれた品種は福島県オリジナル品種の「天のつづ」で、稲刈りにはＪＡ会津よつば猪苗代稲作部会のメンバーが参加しました。

ＪＡ会津よつばの貝沼久榮代表理事専務があいさつを述べ、小林利一常務理事が経過を説明した後、小林さんらは、たわわに実った黄金色の天のつづを手刈りで丁寧に収穫しました。小林さんは「献上米にいなわしろ天のつづが選ばれたことは、猪苗代稲作部会として光栄であり、うれしいです。部会のメンバーのこれまでの努力が実りました。町やＪＡと協力しながら米のブランド化やＪＧＡＰの取得に取り組んできた成果です」と話しました。収穫した米は、乾燥後に品質向上物流合理化施設「猪苗代ライスターミナル」で精米され、10月30日に宮内庁に納められました。

まちの応援マガジン いなわしろ

広報猪苗代

Nov.2019
11
No.709

今月の表紙



【撮影日】 10月10日

【撮影場所】 天神浜

猪苗代ライオンズクラブでは、猪苗代湖の水質改善を図るため、毎年東中学校の生徒と一緒に天神浜の水草回収活動を行っています。今年も東中の生徒たちが一生懸命に水草を回収しました。(関連17ページ)

Contents — 【目次】

02 Pick Up

03 県高校駅伝大会 ほか

04 台風19号が本県を直撃

06 【写真特集】こども園・東中学校運動会

08 野口英世博士顕彰記念町内小中学校音楽祭

10 令和2年度児童・園児募集

12 令和元年度上半期財政状況

14 まちのわだい

16 キラッいいなわしろ／スクールトピックス ほか

18 いなわしろタウンページ

22 暮らしの情報広場

24 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー